

1 審査付託事件

- 認定第13号 令和4年度土幌町一般会計予算
 認定第14号 令和4年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
 認定第15号 令和4年度土幌町後期高齢者事業特別会計予算
 認定第16号 令和4年度土幌町介護保険事業特別会計予算
 認定第17号 令和4年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
 認定第18号 令和4年度簡易水道事業特別会計予算
 認定第19号 令和4年度公共下水道事業特別会計予算
 認定第20号 令和4年度国民健康保険病院事業特別会計

2 出席委員（12名）

加藤 宏一	河口 和吉	大西 米明	伊藤 健蔵	清水 秀雄
牧野 圭司	曾我 弘美	中村 貢	森本 真隆	大野 明
矢坂 賢哉	秋間 紘一			

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

教育長	土屋 仁志	代表監査委員	佐藤 宣光
-----	-------	--------	-------

5 土幌町長職務代理者の委任を受けて出席した者

総務企画課長	亀野 倫生	会計管理者	上野 清子
町民課長	藤内 和三	保健福祉課長	藤村 延
健康介護担当課長	三島 裕子	産業振興課長	西野 孝典
建設課長	田中 敏博	建設課施設担当課長	上山 英樹
子ども課長	角田 淳二	特老施設長	齋藤 英雄
病院事務長	増田 達也	消防課長	土屋 政勝

ほか関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事	川口 久	教育課長	小野寺 務
給食センター所長	加納 正信	高校事務長	木下 雅子

ほか関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長	若原 裕
------	------

ほか関係職員

8 職務のため出席した事務局職員

事務局長

佐藤 慶岩

総務係長

猪狩 賢明

9 会議録

会議の経過

(午前10時00分)

説明

加藤
委員長

おはようございます。昨日に続き予算審査特別委員会を再開します。
昨日は議会費、総務費の審議まで終了していますので、本日の審議は民生費から行います。

藤村保健
福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村からご説明いたしますので、52ページをお開き願います。

3款1項1目社会福祉総務費は、前年度対比606万3,000円減の8,065万円を計上しております。主な要因は、総合福祉センター電話交換機の工事が終了したことによります。1節から4節の人員費では人事異動に伴う540万8,000円減、8節旅費は3年に1度実施している民生児童委員の道外研修のため214万3,000円を計上、10節から53ページ、19節までは前年度の実績に応じて計上しました。52ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては特別児童扶養手当事務取扱委託金など、それぞれ記載のとおり見込むものでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内より説明をいたします。

54ページ、2目国民年金費は、予算額857万2,000円、前年度対比1万3,000円を増額するもので、前年度とおおむね同額を記載のとおり計上しています。特定財源につきましては、国民年金事務委託金を記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤村保健
福祉課長

保健福祉課長。

3目障がい者福祉費は、前年度対比329万6,000円増の3億826万1,000円を計上、主な要因は19節扶助費の増額によるものです。1節から55ページ、18節までは前年度の実績に応じて計上、19節扶助費では自立支援介護、訓練等給付費は利用者の増加により2億4,000万円を見込み、19節全体で2億9,138万9,000円を計上しております。特定財源につきましては、国の障害者介護給付費負担金など、それぞれ記載のとおり見込むものでございます。

続いて、55ページ、4目老人福祉費は、前年度対比216万6,000円増の2,312万2,000円を計上、主な要因は後ほど説明いたします。1節か

ら18節までは前年度の実績に応じて計上、56ページに移りまして、19節扶助費では高齢者施設に措置で入所している方が1名増える見込みのため、前年度360万円増の933万4,000円を計上いたしました。55ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては老人ホーム入所者措置費用負担金など、記載のとおりでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明をいたします。

56ページを御覧願います。5目の老人福祉施設費は、特別養護老人ホームの介護サービス事業特別会計への繰出金として介護サービス事業繰出金を前年度対比2,996万6,000円増の1億776万9,000円、施設整備費繰出金に前年度対比9,254万円減の196万円、合わせまして前年度対比6,257万4,000円減の1億972万9,000円を計上したところでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤村保健
福祉課長

保健福祉課長。

引き続き、保健福祉課長、藤村からご説明いたします。

6目後期高齢者医療費は、前年度対比115万9,000円増の1億279万2,000円を計上、主な要因は給付見込額が増額したものでございます。18節は、療養給付費負担金を前年度対比118万7,000円増の給付を見込み、6,855万9,000円を、27節はほぼ前年度と同額を計上、これは後期高齢者医療事業特別会計への繰出金で、それぞれに充当するものでございます。特定財源につきましては、保険基盤安定負担金を記載のとおり見込むものでございます。なお、予算説明資料18ページに後期高齢者医療の費用負担として一般会計分の会計の流れも記載しておりますので、ご参照願います。

7目国民健康保険費は、前年度対比37万8,000円増の6,324万4,000円で、国民健康保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金でそれぞれに充当する額です。特定財源といたしまして、保険基盤安定負担金の保険者支援分及び保険税軽減分としてそれぞれ記載のとおり見込むものでございます。

8目介護福祉費は、前年度対比638万3,000円減の2,083万5,000円を計上、主な要因は人事異動によるものです。1節から56ページに移りまして4節までの人件費は前年度対比630万5,000円減の1,260万6,000円を計上、8節から18節までは前年度の実績に応じてそれぞれの額を計上しております。

9目介護保険費は、前年度対比476万4,000円減の1億2,427万8,000円で、主な要因は27節繰出金の減額によるものです。10節から19節は

実績に応じて計上、58ページに移りまして、27節繰出金では前年度対比475万円減の1億2,182万4,000円を計上、記載の事業に対する負担が減額したことによるもので、介護保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金で、それぞれ充当するものです。57ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては低所得者保険料軽減負担金など、記載のとおり見込んでいるところでございます。

58ページ、10目居宅介護支援事業費は、前年度対比162万2,000円減の2,298万5,000円を計上、主な要因は人事異動による人件費の減額によるものです。1節から4節までの人件費は前年度対比141万5,000円減の2,171万4,000円を計上、8節から59ページに移りまして18節までは実績に応じてそれぞれの額を計上しました。58ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては居宅介護サービス計画収入などを記載のとおり見込んでいるところでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
小野寺
教育課長

教育課長。

教育課長、小野寺から59ページ、2項1目児童福祉総務費のうち、教育課、学童保育所に関わる分についてご説明いたします。

本年度7,137万5,000円で、前年度対比189万4,000円の増となっておりますが、教育課分の増額要因は、新型コロナウイルス感染症対策として国の補助金を活用した対策用の消耗品を75万円、備品購入を60万円計上、学童保育所を開設している3か所において委託料のうち処遇改善を含む人件費が増額見込みのため141万円を増額したもので、その他は前年度と同額を計上しております。特定財源の内訳は、国及び道補助金のほか、学童保育所使用料など、記載のとおり見込んでおります。

以上で教育課分の説明を終わります。

加藤
委員長
角田
子ども
課長

子ども課長。

1目児童福祉総務費、子ども課所管に関わる費用について子ども課長、角田からご説明いたします。

子ども課所管に関わる本年度予算額は4,810万9,000円で、前年度対比33万4,000円の増額となっております。主な要因としまして、12節委託料のうち、中土幌保育園運営費委託料では保育士の処遇改善で83万3,000円増の4,663万6,000円、19節扶助費の町外施設型給付費は町内に住所を有する児童が町外の幼稚園へ通園することから施設へ給付する費用で、前年度より1名減で53万7,000円減の81万6,000円を計上しております。その他の節においては、前年度実績を考慮し、計上しております。特定財源につきましては、国、道の中土幌保育園運営費負担金及び保育士等処遇改善臨時特別交付金のほか、記載のとおり見

込んでおります。

60ページをお開き願います。2目認定こども園費について、本年度予算額は2億2,742万9,000円で、前年度対比876万5,000円の減額となっております。主な要因としまして、1節報酬から4節共済費の人件費の合計は1,030万円減の1億8,886万5,000円で、主に職員等の退職等によるものであります。10節需用費のうち、燃料費は原油価格の高騰により40万円増の190万円、修繕費は前年度の午睡室の畳の表替え完了に伴い105万円減の80万円、61ページに移りまして、12節委託料のうち管理業務委託料では人件費などの増で22万4,000円増の457万7,000円、13節使用料及び賃借料のうち印刷機賃借料では機器の更新に伴い20万6,000円を計上、14節工事請負費は予算計上はありませんが、前年度の火災通報装置更新工事で25万3,000円が減額となっております。17節備品購入費では、前年度のFFストーブ及び冷凍庫の更新が完了したことにより111万円減の65万円、その他の節においては、前年度実績を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、60ページに戻りまして、2号、3号認定子ども使用料、保育士等処遇改善臨時特別交付金及び道からの交付金等を記載のとおり見込んでおります。

62ページをお開き願います。3目へき地保育所費について、本年度予算額は5,111万円で、前年度対比677万5,000円の減額となっております。主な要因としまして、1節報酬から4節共済費の人件費の合計は704万7,000円減の3,062万円で、園児数の減少に伴う保育士1名の減によるものであります。10節需用費では、職員及び園児の減少に伴い、賄材料費が21万5,000円減の92万4,000円、63ページに移りまして、11節役務費のうち通信回線料は光回線の開通に伴い、新たに15万3,000円を計上、12節委託料は保育士の処遇改善等により上居辺へき地保育所運営委託料が120万円増の1,660万円、14節工事請負費は前年度のへき地保育所園庭遊具移設工事の完了に伴い80万円を減額し、新たに光回線設備新設工事2万1,000円を計上しております。その他の節においては、前年実績を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、62ページに戻りまして、主な財源はへき地保育所使用料、国、道からの特例地域型保育給付費負担金及び保育士等処遇改善臨時特別交付金、太陽光発電電力売払収入等を記載のとおり見込んでおります。以上で説明を終わります。

保健福祉課長。

加藤
委員長
藤村保健
福祉課長

4目児童手当費は、前年度対比730万円減の7,770万円を計上しております。児童数の減による減額及び制度の改正により一定の所得以上の者については支給対象外となるための減額となっております。特定財源につきましては、児童手当負担金のルールに基づき、記載のとおり

り見込んでいるところでございます。

64ページに移りまして、5目子育て支援推進費は、前年度対比915万5,000円減の4,361万円で、主な要因は骨格予算編成に伴うこどもの育ち応援特別給付金を計上しなかったためでございます。初めに、保健福祉課分をご説明いたします。1節から4節は人件費等を前年度ほぼ同額を計上、7節から65ページに移りまして19節までは前年度の実績に応じてそれぞれを計上しております。64ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては地域子ども・子育て支援事業補助金など、記載のとおり見込んでいるところでございます。

加藤委員長
藤内町民課長

町民課長。

町民課長、藤内より5目子育て支援推進費の町民課所管事業について説明いたします。

7節報償費、子育て支援祝金として予算額450万円、前年度対比50万円を減額するもので、交付対象予定人数は出生で40人、新入学で9人となっています。

以上で説明を終わります。

加藤委員長
角田子ども課長

子ども課長。

5目子育て支援推進費、子ども課所管に関わる費用について子ども課長、角田からご説明いたします。

子ども課所管に関わる予算は、前年度対比14万2,000円増の2,393万9,000円となっております。65ページを御覧願います。主な要因は、12節委託料の子育て短期支援事業で前年度実績を考慮し、16万1,000円増の48万3,000円を計上しました。18節負担金補助及び交付金では、佐倉へき地保育所幼児交通費支援事業補助金の終了に伴い7万2,000円を減額、その他の節においては前年度実績を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、64ページに戻っていただきまして、国及び道からの地域子ども・子育て支援事業補助金を記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤委員長
藤村保健福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村から66ページ、6目乳幼児等医療費をご説明いたしますので、御覧いただきたいと思っております。

6目乳幼児等医療費は、前年度とほぼ同額の2,246万2,000円を計上、特定財源につきましては乳幼児等医療費助成事業補助金のほか、記載のとおり見込むものでございます。

7目未熟児養育医療費は、前年度同額の108万2,000円を計上、特定財源につきましては国及び道からの未熟児医療費負担金と自己負担額

		<p>としての徴収金をそれぞれ記載のとおり見込んでいるところです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	加 藤 委 員 長	こども発達相談センター事務長。
	小 野 寺 こ ども 発 達 相 談 セ ン タ ー 事 務 長	<p>こども発達相談センター事務長、小野寺から8目こども発達相談センター費についてご説明いたします。</p> <p>本年度4,079万6,000円で、前年度対比48万8,000円の減額、主な要因は人事異動によります人件費に関わる予算の増額と施設改修費の減額によるものでございます。1節報酬は会計年度任用職員4名分、2節給料から4節共済費までは職員4名と会計年度任用職員4名分の人件費等を計上、67ページに移りまして、13節使用料及び賃借料では照明器具のLED化に伴う賃借料としまして19万3,000円を計上、その他の節につきましては前年度の実績等に基づき計上したところがございます。66ページに戻りまして、特定財源の内訳は障害児通所支援収入など、記載のとおり見込んでおります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
質 疑	加 藤 委 員 長 清 水 委 員	<p>説明が終わりましたので、民生費について質疑を行います。ありませんか。6番、清水委員。</p> <p>55ページ、ここに軽度難聴児補聴器費支給が載っているのですが、私がお伺いしたいのは、難聴というのは、今土幌の高齢化率も非常に高く、高齢者のほとんどの方が難聴で補聴器を使用しているという状況にあります。自治体によっては補聴器に対しての助成を行っているという自治体があります。本町でもそういう点では考慮されてはいるかがでしょうか、お伺いします。</p>
	加 藤 委 員 長	保健福祉課長。
	藤村保健 福祉課長	<p>保健福祉課長、藤村のほうからご説明いたします。</p> <p>清水委員のおっしゃるとおり、前回でしたか、前々回でしたか、一般質問にもございましたので、そのとき理事者と相談しまして、検討の余地はあるということでしたが、政策予算のこともありますので、今後、新理事者と協議して検討してまいりたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
	加 藤 委 員 長 清 水 委 員	<p>6番、清水委員。</p> <p>自治体によって助成しているところがあると先ほど言ったのですが、それほど高額ではないのです。1万円か2万円、そういう形で援助するという方法を取っています。そういうことで十分だと思うのですが、それが住民に対しての温かい思いやりだと思うのです。そういう点でぜひ前向きに考慮していただきたいと思います。</p>

	以上です。
加藤委員長 大西委員	3番、大西委員。 60ページの認定こども園の中で職員の処遇改善ということで、国も一生懸命やっているのですが、1人当たり大体、給料の値上げだと思うのですが、どのぐらいになったのですか、今回の処遇改善で。
加藤委員長 角田子ども課長	子ども課長。 子ども課長、角田よりお答えいたします。 今回の処遇改善につきましては、会計年度任用職員を対象として行っております。正職員については実施しておりません。これは、国の処遇改善の事業に基づきまして行っているものでございまして、2月の給与分から反映しなければ国のほうも交付税の対象にしないということがございまして、先ほどの補正予算のときに2月、3月分の職員の分の給料を改定させていただいた。ご承認いただいたところでございます。それで、1人当たりの月額給料上乘せ分でございますが、平均しまして大体4,700円程度となっております。
加藤委員長 大西委員	以上であります。 3番、大西委員。 予算特別委員会だから聞きますが、認定こども園の新型コロナの感染者、昨日教育委員会は聞けたが、認定こども園はできなかったの、どのぐらいの人数、たくさん出ていますが、今どのぐらいになっているのかお聞きします。
加藤委員長 角田子ども課長	子ども課長。 子ども課長、角田よりお答えいたします。 1月から現在までの感染者数につきましては、職員2名、それと園児が13名、合わせて15名感染しております。先週までクラス閉鎖をしておりましたが、今週については今のところ落ち着いているような状況であります。
加藤委員長 大西委員	以上であります。 3番、大西委員。 学校もそうなのですが、こども園というのは子供小さいですから、かかったときに自宅で待機する、療養することなのなのですが、どうしても親も働いていても子供に付き添わなければならないと。休める親と休めない親がいると思うのです。でも、どうにもならないから無理くり休んでいると思うのですが、そういうときに何かいい方法、親の働いている人たちを、病児保育をやって、病後を今度やるのかな

説明

加藤
委員長

という形ですが、病中の保育がないので、そういうことを今後、政策予算だから次の町長と言われればそうなのですが、そういうことを少し考えていかないと、これからBA. 2なんかもすぐ感染して、どんどん増えて第7波が来ると思うのですが、そういうときに向かってそういうことも考えていかないと、幼稚園の部分はいいのですが、保育園の部分は両親が働いていますから、それを新しい政策予算の中でどう考えていくのか、新しい町長に向かって検討してください。

そのほかありませんか。

(なし)

加藤
委員長

なければ、これで民生費の質疑を終了します。
ここで説明職員の交代のため暫時休憩します。

午前10時25分 休憩

午前10時27分 再開

加藤
委員長

休憩を解き、委員会を再開します。
次に、**衛生費**について説明を求めます。
健康介護担当課長。

三島保健
福祉課
健康介護
担当課長

保健福祉課健康介護担当課長、三島よりご説明いたします。
68ページ、4款1項1目保健衛生総務費は、対前年度比703万7,000円増の6,610万8,000円を計上しております。1節報酬と3節職員手当等につきましては、子育て世代包括支援センターでの子育て相談及び児の発達相談業務を行う特別支援専門員等と保健師の報酬241万6,000円と職員手当34万3,000円を計上しております。12節委託料では介護予防との一体的保健事業として通いの場での健康講座を保健師などの専門職に委託するため30万3,000円を計上、69ページ、18節負担金補助及び交付金では帯広厚生病院運営費補助金等を計上、節全体では629万4,000円計上、20節貸付金、看護師等修学資金貸付金は令和3年度からの貸付者1名と新規3名を見込み、4名分、前年度と同額の480万円を計上し、節全体では660万円を計上しております。他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。68ページに戻っていただき、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金305万4,000円ほか、記載のとおり見込んでいるところです。
69ページをお開きください。2目予防費は、対前年度比455万6,000円増の4,366万5,000円を計上しております。増額の主なものは、70ページ、12節委託料、13節使用料及び賃借料、18節負担金補助及び交付金で、12節委託料は予防接種委託料、前年度比481万4,000円増の2,147万8,000円を計上、これは子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨差し控えの終了により、中止していた期間の対象者まで年齢拡大をしたこ

とによるものです。また、地域包括ケアシステム推進事業委託は、後期高齢者医療費分析の中に事業評価分析を追加したことにより前年度より96万8,000円を増額、314万6,000円を計上しております。健康管理システム改修委託料は、改修終了により204万1,000円を減額し、電算機器システム保守等委託料分4万7,000円を計上、13節使用料及び賃借料は体成分分析器の使用料26万2,000円を国保ヘルスアップ事業から介護予防と一体的保健事業に組替えしたことにより計上、18節負担金補助及び交付金は高齢者インフルエンザ予防接種の償還払い分60万円を増額しております。その他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。69ページに戻っていただいて、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金324万3,000円ほか、記載のとおり見込んでいます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内より説明をいたします。

71ページ、3目環境衛生費は、予算額2,750万4,000円で、前年度対比354万7,000円を減額するもので、その主な要因は人事異動に伴う2節給料から4節共済費までの人件費で206万9,000円の減額、10節需用費の修繕料で土幌聖苑の火葬炉セラミック交換及び送風機の交換等が完了したことにより231万6,000円を減額、12節委託料で中土幌地区、下居辺地区の墓地敷地内の樹木整備として共同墓地整備委託料51万円を計上、その他の節につきましては、前年度実績等に応じてそれぞれ記載のとおり計上しています。特定財源につきましては、墓地使用料ほか、記載のとおり見込んでいます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

72ページをお開き願います。4目病院費は、前年度対比195万6,000円増の4億1,822万3,000円を計上したところでございます。増額につきましては、23節、企業債及び医療機器整備への出資金を前年度比195万6,000円増の6,822万3,000円であります。特定財源につきましては、地方創生臨時交付金及び基金繰入金を記載のとおり充当するものでございます。

次に、5目上水道費は、前年度対比1,008万円減の3,928万6,000円で、全額を簡易水道事業特別会計へ繰り出すものであります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長

健康介護担当課長。

三島保健 福祉課 健康介護 担当課長	<p>保健福祉課健康介護担当課長、三島より説明いたします。</p> <p>72ページ、6目新型コロナワクチン接種事業費は、前年度より3,268万6,000円減の1,911万1,000円を計上しております。主なものは、予防接種による健康被害が生じた場合において調査、救済について協議する予防接種健康被害調査委員に対する経費として1節報酬、8節旅費、13節、会議室使用料で62万2,000円を計上、また1節から4節までは接種業務に当たる会計年度任用職員4名分の人件費264万3,000円を計上、10節需用費と11節役務費、17節備品購入費は接種に関する物品や郵便料などそれぞれ計上いたしました。12節委託料は、ワクチン管理や薬品管理、国保病院の医師、看護師等の体制整備に関わる経費として前年度比300万円減の400万円を計上、また予防接種委託料として3回目接種と1、2回目の3,500人の接種費用940万5,000円を計上しております。72ページに戻っていただき、特定財源につきましては新型コロナワクチン接種対策費負担金及び新型コロナワクチン接種体制確保事業補助金で、歳出と同額の1,911万1,000円を見込んでいます。</p>	
加藤 委員長 藤内 町民課長	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>町民課長。</p> <p>町民課長、藤内より説明をいたします。</p> <p>73ページ中段、2項1目ごみ処理費は、予算額1億5,159万7,000円で、前年度対比321万6,000円を増額するもので、その主な要因として、10節需用費の修繕料で中土幌リサイクルセンターの空き缶圧縮機等の油圧計修理、プラスチック減容梱包結束機オーバーホール等の修繕が完了したことにより159万5,000円の減額、74ページ、12節委託料で保守点検及びごみ収集委託料ともに人件費の増、燃料費の高騰などにより267万4,000円の増額、18節負担金補助及び交付金で北十勝二町環境衛生処理組合運営分担金が最終処分場拡張工事業開始に伴い213万5,000円の増額、その他の節につきましては前年度実績等に応じてそれぞれ記載のとおり計上しています。73ページに戻りまして、特定財源については一般廃棄物処理業許可申請手数料ほか、記載のとおり見込んでおります。</p>	
質疑	加藤 委員長 森本委員	<p>74ページ下段、2目し尿処理費は、予算額818万3,000円、前年度対比194万2,000円を減額するもので、18節負担金補助及び交付金で十勝川浄化センター浄化槽汚泥等受入れ施設へ搬入する実績に基づいて計上しています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりましたので、衛生費について質疑を行います。ありませんか。10番、森本委員。</p> <p>69ページ、8節旅費の中で乳幼児聴覚相談専門員の費用弁償という</p>

加藤委員長
三島保健福祉課健康介護担当課長
加藤委員長
森本委員

ことで計上されております。当然新生児の聴覚検査について土幌町でも補助を出しております、その検査の結果を受けての相談受付ということになるのかなと想像しますが、どのような方が対象で、どのような形で相談が行われてきたのか教えていただきたいと思います。

健康介護担当課長。

乳幼児聴覚相談専門員のことなのですが、これにつきましては3歳児健診におきまして帯広聾学校の協力により、その中で聴覚検査を行っております。

以上です。

10番、森本委員。

相談という形ではなく、聴覚検査のみを実施しているという形でしょうか。

健康介護担当課長。

加藤委員長
三島保健福祉課健康介護担当課長
加藤委員長
森本委員

簡易検査という形になるかと思うので、その後は聾学校の先生と相談しまして、しかるべき専門機関につなげたりとかという対応はしております。

以上です。

10番、森本委員。

実績として聴覚に障がいを持つ方がいらっしゃって、専門機関への紹介という形も取っていらっしゃるということでしたが、専門機関プラス、保護者の方にはうちの子に限ってという感情であったり、できれば隠したいという感情の方ももちろんいらっしゃると思います。土幌町でもお子さんが聴覚障がい持っている方、先輩という形になると思いますが、いらっしゃると思いますので、そういう方の了承が得られれば、相談の相手になれると思いますので、ぜひそういうところも検討して、聴覚に障がい持つお子さんがそれが通常であると胸を張って生活できるような環境づくり、検討していただきたいと思います。お願いします。

加藤委員長
大西委員

3番、大西委員。

環境衛生費で狂犬病の予防注射をやっていますが、決算のときも言ったのですが、今、野良犬って見当たらないぐらいになって少なくなっていますが、猫に餌をやっている家庭が、自分の飼い猫ならいいが、野良猫に餌をやっている家庭が結構町の中であるのです。それが増えて、目に余る野良猫が町の中にいっぱいいうろろしているのですが、時間になると餌をやるから、その家に5匹も6匹も集まるという形で、

犬と違って猫は狂犬病みたいな注射をしていませんから、ちょっとひっかかれたりかじられたりしたら、病気になったりすることがあるので、何とかしないと、かわいいからと餌やって、自分で飼うのならいいが、餌やるだけなのです。それで、隣近所の人はずごく迷惑するのですが、なかなか言えないということで、大々的に野良猫への餌やりなんかは、そういうのを徹底していかないと野良猫減らないです。野良犬はいないですから、もう。それをやってくれないと住民困ると思うのですが。

加藤
委員長
藤内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内よりお答えします。

大西委員の言われるとおり、野良猫の苦情というのは年間少くないです。対応としては、一応その地区に、野良猫には餌をやらなくてとか、もしやるとするならば責任持って飼うようにとか、避妊をするようにというチラシ文書その地区を中心に配布をした経緯はあります。でも、依然としてやめてくれない方とかというのもしらっしゃるのも事実なので、その辺の苦情等は来ていますので、それよりさらに一歩何か踏み込んだものができるかを今後検討するなり、もしくは例えば餌をやっている方が分かるのであれば、個別にお話しに行って、やめてもらうようにというような依頼をするような対応をしたいと思っておりますので、ちょっとお時間いただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

加藤
委員長
大西委員

3番、大西委員。

餌やっている人は、かわいそうだと思ってやっているのだと思うのです。それをやるなと言うと、そしたら猫どうするのと言うと思うのですが、そうなったときに、昔、野良犬駆除をやったよね、そういうふうに野良猫を駆除していかないとどうにもならない。また餌やりするのだと思うのです。土幌役場OBの女の人も一生懸命五、六匹に餌やっている人もいますから、ですからその辺も言ってくれるなら言ってもらいたいぐらいですが、今度野良猫をどうやって処分するかということも考えていかないと、餌はやらないが、ほっとくという話にはならぬと思うので、その辺まで突っ込んでやってください。

加藤
委員長
伊藤委員

5番、伊藤委員。

73ページの12節、ここのワクチン接種交通支援業務委託料50万円とありますが、子供の接種が始まりまして、町内に小児科がないということで音更なり帯広を指定されているのですが、これらの交通費の補助というのはこの中に入っているのか入っていないのかお聞きしたいのですが。

<p>加藤委員長 藤村保健福祉課長</p>	<p>保健福祉課長。</p> <p>保健福祉課長、藤村のほうからご説明いたします。</p> <p>この予算の中には入っておりません。ただ、今後検討しなくてはならない案件なのかもと認識はしております。</p> <p>以上です。</p>
<p>加藤委員長 伊藤委員</p>	<p>5番、伊藤委員。</p> <p>骨格予算ということですから、要望が通るのかどうなのか分からないのですが、認識されているということですから、ぜひ認識してください。</p>
<p>加藤委員長</p>	<p>そのほかありませんか。</p>
<p>加藤委員長</p>	<p>(なし)</p> <p>なければ、これで衛生費の質疑を終了します。</p> <p>ここで説明員交代のため暫時休憩します。</p>
<p>説明</p>	<p>午前10時45分 休憩</p>
	<p>午前10時47分 再開</p>
<p>加藤委員長</p>	<p>休憩を解き、委員会を再開します。</p> <p>次に、労働費、農林業費、商工費について説明を求めます。産業振興課長。</p>
<p>西野産業振興課長</p>	<p>産業振興課長、西野からご説明いたします。</p> <p>75ページの5款1項1目労働諸費につきましては、前年度比450万円減の1,433万7,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、委託料並びに助成金の減によるもので、12節の冬期雇用対策事業委託料では近年の事業実績等を勘案し、100万円減の300万円を計上、18節負担金補助及び交付金では上から5行目の定住雇用促進賃貸住宅建設事業助成金は賃貸住宅の建設動向により350万円減の400万円を計上し、そのほかはほぼ前年度と同様に各種負担金、助成金を計上したところでございます。20節貸付金では前年度と同額の合計430万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、労働者福利厚生資金預託金回収金400万円など、記載のとおり充当しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>加藤委員長 上山建設課施設担当</p>	<p>施設担当課長。</p> <p>建設課施設担当課長、上山からご説明いたします。</p> <p>75ページをお開き願います。2目勤労青少年アパート管理費は、フレンドハウスの運営に関わる必要経費を計上しております。本年度計</p>

課	長	<p>上額は922万5,000円で、対前年度86万8,000円の増額となっております。主な増額の要因は、10節需用費で燃料費の76万8,000円の増額、17節備品購入費で厨房施設の揚げ物を調理する機器更新など施設備品購入に29万5,000円計上により増額となるものであります。そのほかの節は、ほぼ前年度同様の内容となっております。特定財源につきましては、勤労青少年アパート使用料201万6,000円、雑入金92万8,000円を計上しております。</p>
		<p>以上で説明を終わります。</p>
加	藤	<p>農業委員会事務局長。</p>
委	員	
長	長	
若	原	<p>76ページ、6款1項1目農業委員会費について農業委員会事務局長、若原からご説明いたします。</p>
農	業	
委	員	
会	会	
事	務	<p>今年度の予算額は3,378万5,000円で、前年対比4万8,000円の増額となっております。主な要因としましては、一般職2名及び会計年度任用職員1名の1節報酬から3節職員手当等にかかった人件費で10万円の増の2,425万6,000円で、その他の節につきましては前年度とおおむね同様の計上額、内容となっております。特定財源につきましては、農業委員会交付金のほか3件で673万2,000円を充当するものであります。</p>
務	局	<p>以上で説明を終わります。</p>
長	長	
加	藤	<p>産業振興課長。</p>
委	員	
長	長	
西	野	<p>産業振興課長、西野からご説明いたします。</p>
産	業	
振	興	<p>77ページの2目農業総務費は、前年度比459万2,000円減の4,316万3,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、人件費の減によるもので、1節報酬では会計年度任用職員1人分、前年同額の261万円、2節から4節までは職員5人分の人件費及び会計年度任用職員の手当などで合わせて前年度比460万6,000円減の3,954万4,000円を計上したところでございます。その他の節につきましては、ほぼ前年同様の内容となっております。</p>
課	長	<p>次に、3目農業振興費は、前年度比348万9,000円減の2,753万6,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、12節委託料では農業振興地域整備計画の全体見直しに係る計画図書作成の終了、18節負担金補助及び交付金では農業経営基盤強化資金利子助成金等の減によるものでございます。主な歳出につきましては、78ページに移りまして、12節委託料では農畜産物加工研修施設指定管理委託料として前年度同額の606万円を計上、18節負担金補助及び交付金ではほぼ前年度と同様に各種負担金、助成金を計上しておりますが、上から6行目の農業経営基盤強化資金利子助成金を償還利子助成の減に伴い90万4,000円減の217万5,000円を計上したところでございます。77ページ</p>

に戻っていただきまして、特定財源につきましては農業経営基盤強化資金利子補給補助金など、記載のとおり充当しております。

次に、78ページの4目農業振興基金運用事業費につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、前年度1,422万4,000円増の4,533万円を計上したところでございます。増額の主な要因は、18節の基幹作物輪作維持支援事業助成金の増によるものでございます。1節報酬、8節旅費は前年度と同額を計上、18節負担金補助及び交付金では下から2行目の基幹作物輪作維持支援事業助成金はオフセット型ポテトハーベスター8台分の導入助成として前年度比1,500万円増の2,400万円を計上し、そのほかは前年度と同様に負担金、助成金を計上したところでございます。79ページの24節積立金は、農業振興基金積立金の特別分と一般分を合わせまして1,436万円でございます。78ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては基金利子収入の一般分63万1,000円、特別分1,336万円など、記載のとおり充当しております。

次に、79ページの5目農業振興人材育成基金運用事業費につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、前年度比6,000円増の100万4,000円を計上したところでございます。1節報酬は委員の人数減に伴い前年度比3,000円減の9,000円、18節負担金補助及び交付金では農業後継者等海外研修助成金ほか、記載のとおりそれぞれ前年度と同様の事業を行うものであります。24節積立金は、基金積立金として1万4,000円でございます。特定財源につきましては、基金利子収入100万4,000円を充当しております。

次に、6目畜産業費は、前年度比499万5,000円減の1,700万1,000円を計上したところでございます。なお、酪農振興基金の運用に係る事業につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、事業費を計上したところでございます。減額の主な要因は、人件費の減によるもので、1節報酬では基金運用委員会委員報酬で前年度と同額を計上、2節から4節までは職員1人分の人件費で合わせて500万4,000円減の473万2,000円を計上したところでございます。その他の節につきましては、80ページの24節まで、ほぼ前年同様の内容となっており、80ページの18節負担金補助及び交付金では酪農ヘルパー事業助成金など各種畜産関係団体への負担金及び助成金で引き続き前年度と同様の負担、助成を行うものであり、24節積立金は前年度比3,000円増の218万4,000円を計上したところでございます。79ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては酪農振興基金利子収入222万5,000円など、記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

加 藤
委 員 長

建設課長。

田中 建設課長	<p>7目土地改良事業費について建設課長、田中から説明します。</p> <p>80ページをお開きください。予算書と併せて予算説明資料13ページをご参照ください。7目土地改良事業費は、町が実施する排水路1条、道が実施する農道2路線及び排水路1条の執行に関わります町負担金、道営畑総4地区の事業に関わります地元負担金並びに多面的機能支払交付金事業に伴う町内9地域資源保全隊の補助金のほか、農業用施設の維持管理に関わる工事費を計上しているもので、本年度計上額は4億5,345万5,000円、対前年度2億7,091万1,000円の減額計上となっております。主な減額要因としましては、事業完了や償還完了に伴う減額と団体営事業の減額によるもので、12節委託料、14節工事請負費、18節負担金補助及び交付金がそれぞれ減額計上となりました。このほかの節は、ほぼ前年度同様となっております。特定財源は、道営土地改良事業受益者分担金4,942万5,000円のほか、ここに記載の各事業に関係します補助金、委託金並びに各種事業債を計上しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤 委員長 西野産業 振興課長	<p>産業振興課長。</p> <p>産業振興課長、西野からご説明いたします。</p> <p>81ページの8目農地利用集積円滑化事業基金運用事業費につきましては、前年度比16万1,000円増の1,184万5,000円を計上したところでございます。1節報酬、8節旅費は前年度と同額を計上、18節負担金補助及び交付金については農地利用集積円滑化事業助成金として前年度比8万4,000円減の470万2,000円、24節積立金は基金積立金に前年度比24万5,000円増の711万9,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、基金利子収入462万1,000円など、記載のとおり充当しております。</p> <p>続きまして、82ページの2項林業費、1目林業振興費につきましては、前年度比417万3,000円増の2,555万9,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、有害鳥獣捕獲報償の増額のほか、森林環境譲与税基金を活用した輝く未来につなぐ森林整備事業補助金の増並びに森林環境譲与税基金積立金の増によるものでございます。初めに、有害鳥獣対策に係る予算についてご説明いたします。7節報償費では、有害鳥獣捕獲報償において近年のエゾシカ捕獲頭数の増加傾向を考慮した増額と併せ、熊駆除報償においてヒグマ1頭当たり単価を2万円から3万円に増額したことにより、合わせて前年度比56万円増の316万1,000円を計上したところでございます。このほか、10節需用費8万円、11節役務費3万6,000円、12節委託料では森林地理情報システム保守委託料以外の137万円、18節負担金補助及び交付金のうち、上から6行目の猟友会有害鳥獣駆除助成金9万1,000円、次の銃猟免許新規取得者助成金10万円、その次の地域エゾシカ対策事業助成金28</p>

万8,000円を計上し、有害鳥獣対策の総額で512万6,000円としたところでございます。次に、民有林振興に係る予算につきましては、18節負担金補助及び交付金の上から4つは各種林業関係団体への負担金を計上、5つ目の十勝森林認証取得協議会負担金は森林認証の管理費用として計上、一番下の豊かな森づくり推進事業補助金につきましては未来につなぐ森づくり推進事業の後継事業となり、伐採後の確実な植林等を支援する事業で、民有林の植林約30haに対する補助金であります。また、下から2つ目の輝く未来につなぐ森林整備事業補助金につきましては、森林環境譲与税を財源に令和2年度から実施し、民有林の下草刈り、保育間伐等に係る費用への補助金として前年度比200万円増の500万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、豊かな森づくり推進事業補助金470万1,000円、森林環境譲与税基金繰入金500万円など、記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

加藤委員
長田中
建設課長

建設課長。

2目林道費について建設課長、田中から説明します。

説明資料の14ページの位置図を参照願います。2目林道費ですが、継続事業であります道営林道ワッカ美加登線開設事業に関わる事業負担金を計上するもので、18節負担金補助及び交付金1,250万円を計上しております。特定財源につきましては、辺地対策事業債を同額計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤委員
長西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からご説明いたします。

83ページの7款1項1目商工振興費につきましては、前年度比5,822万円減の8,212万円を計上したところでございます。減額の主な要因は、人件費の減によるもののほか、企業立地促進奨励金の対象事業の終了、商品券発行事業助成金や新型コロナ対策の事業者支援金の減など18節負担金補助及び交付金での減額によるものでございます。1節報酬から4節共済費までは、一般職2人分及び会計年度任用職員1人分の人件費で、合わせて前年度比540万7,000円減の1,655万7,000円でございます。18節負担金補助及び交付金では、上から2行目のタウンプラザ施設維持負担金は2か年事業で実施されますタウンプラザの屋根防水工事への負担金として144万5,000円を計上、3行目の商工会活動助成金に前年度同額の2,194万5,000円、5行目の商工業活性化推進事業助成金は実績を勘案し、前年度比184万1,000円減の1,079万3,000円を計上しております。下から2行目の住宅リフォーム費用助成事業補助金は前年度と同額の210万円を計上、一番下の移住促進事業補助

金は実績を勘案したほか、一部補助メニューの見直しにより前年度比100万円減の78万円を計上しております。20節貸付金につきましては、前年度と同様に中小企業者事業資金融資預託金2,000万円を計上しております。特定財源につきましては、太陽光発電施設貸付料144万5,000円、愛のまち建設基金繰入金1,046万8,000円など、記載のとおり充当しております。

次に、2目観光振興費につきましては、前年度比1,798万1,000円減の8,502万5,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、修繕料、施設設備改修工事費及び施設備品購入費の減のほか、新型コロナウイルス対策の支援金、第三セクター貸付金の減などによるものでございます。主な歳出につきましては、7節報償費では無料入湯券取扱報償費を前年度同額の680万円計上、10節需用費のうち修繕料は310万円減の300万円で、しほろ温泉プラザ緑風など観光拠点3施設の各種修繕費用を計上しております。84ページに移りまして、12節委託料では指定管理施設の管理費用の実績等を勘案し、道の駅ピア21しほろは1,738万円、しほろ温泉プラザ緑風は1,173万8,000円、土幌高原ヌプカの里は1,244万5,000円をそれぞれ計上しております。14節工事請負費の土幌高原ヌプカの里施設設備改修工事170万円は、緊急性の高い浄水ポンプ場屋根の防水補修工事に係る経費を計上したものでございます。18節負担金補助及び交付金につきましては、記載の各種団体に対する負担金及び助成金で、上から5行目のシーニックバイウエイルート会議負担金12万円並びにその下の北十勝4町広域連携事業負担金60万円につきましては前年度まで2款総務費に計上していたものを移行したもので、そのほかは前年度と同様に負担金、補助金、助成金を計上したところでございます。20節貸付金は、第三セクター貸付金を前年度比200万円減の800万円を計上し、株式会社ベリオールに対して運転資金の貸付けを行うものでございます。83ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては太陽光発電施設貸付料3,022万円、愛のまち建設基金繰入金680万円など、記載のとおり充当しております。

以上で説明終わります。

加藤委員長　　ここで11時20分まで休憩とします。

午前11時05分　休憩

午前11時20分　再開

加藤委員長　　休憩を解き、委員会を再開します。

質疑　清水委員　　労働費、農林業費、商工費についての質疑を行います。6番、清水委員。

清水委員　　75ページです。勤労青少年アパートについて管理委託料等が計上さ

	<p>れていますが、この青少年アパートの利用状況、どのようになっているか説明をお願いいたします。</p>
加藤委員長	<p>施設担当課長。</p>
上山建設課施設担当課長	<p>施設担当課長、上山からご説明いたします。 管理委託料については、現在株式会社ほしや様に委託しております。 以上でございます。 (「利用状況」と言う者あり)</p>
上山建設課施設担当課長	<p>失礼しました。 利用状況でございますが、入居者状況ということで、2月末現在でございますが、高校生が9名、一般の勤労労働者の方が12名で、2月末現在合計21名の入居状況でございます。</p>
加藤委員長	<p>以上でございます。 6番、清水委員。</p>
清水委員	<p>今説明で21名の利用ということでしたが、実際の利用できる人数というのは何人ですか。</p>
加藤委員長	<p>施設担当課長。</p>
上山建設課施設担当課長	<p>施設担当課長、上山からご説明いたします。 入居の最大は30名となっております。 以上でございます。</p>
加藤委員長	<p>そのほかありませんか。 (なし)</p>
加藤委員長	<p>ないようなので、労働費、農林業費、商工費の質疑を終了します。 ここで説明員交代のため暫時休憩します。</p>
	<p>午前11時21分 休憩 午前11時21分 再開</p>
加藤委員長	<p>休憩を解き、委員会を再開します。</p>
田中建設課長	<p>次に、土木費、消防費について説明を求めます。 建設課長。 8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費について建設課長、田中から説明します。 85ページを御覧ください。1目土木総務費ですが、町道の管理、街路灯の維持管理費と各種団体への負担金を計上しております。本年度計上額は781万8,000円で、対前年度18万8,000円の増額となりました。</p>

説明

主な増額要因は、18節負担金補助及び交付金で北海道防災協会負担金が増額となっております。ほかの節につきましては、ほぼ前年度並みの計上となっております。特定財源につきましては、道路占用使用料280万円、河川敷地使用料2万6,000円を計上しております。

以上で説明終わります。

加藤
委員長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

2目土地開発基金費は、前年度対比1,000円減の2万1,000円を計上したところです。内訳につきましては、基金利子分を繰り出して積み立てるもので、特定財源として同基金利子収入を全額充当するものがあります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
田中
建設課長

建設課長。

3目公園管理費について建設課長、田中から説明します。

3目公園管理費ですが、本年度計上額は984万9,000円で、対前年度75万9,000円の増額となりました。主な増額要因は、コミュニティー広場遊具の修繕料を計上したことによるものです。そのほかの節は、ほぼ前年同様となっております。特定財源につきましては、公園敷地貸付料1万4,000円を計上しております。

次に、8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費ですが、道路の維持管理に関わる職員の人件費と車両センター事務所などの施設維持経費を計上しております。本年度計上額は2,394万1,000円で、対前年度633万8,000円の増額となっております。主な増額要因としまして、会計年度任用職員1名増員など人件費の増額によるものです。そのほかの節は、ほぼ前年同様となっております。

2目道路橋梁維持費ですが、道路の維持管理費と冬期間の除雪等に係る費用で、本年度計上額は7,505万2,000円で、対前年度287万9,000円の増額となっております。主な増額要因としまして、燃料費や重機借上料などの単価高騰と稼働実績の増加によるもので、10節需用費としまして1,600万7,000円、13節使用料及び賃借料では1,818万6,000円を計上しております。また、18節負担金補助及び交付金では除排雪機械購入補助金として270万円を計上したところです。そのほかの節は、ほぼ前年同様となっております。

次に、3目道路橋梁新設改良費ですが、社会資本整備交付金事業などの道路事業及び町単独の公共施設整備事業に要する経費を計上しているもので、本年度計上額は2億7,334万5,000円で、対前年度1億916万9,000円の減額となっております。主な減額要因としまして、14節工事請負費の減額によるもので、補助事業と交付金事業につきまして

は年度当初から速やかに実施しなければならないことから計上しておりますが、起債事業など単独事業につきましては当面の事業費のみ計上したことにより、減額計上となっております。ほかの節は、2節から11節についてはほぼ前年同様、また12節から26節につきましては事業執行に必要となる経費をそれぞれ計上しております。特定財源は、社会資本整備総合交付金7,200万円、道路局所管補助金3,388万円を計上し、ここに記載の各種事業債を5,180万円を計上しております。

次に、88ページ、8款土木費、3項河川費、1目河川維持費ですが、北海道が管理する音更川とワッカクネップ川に設置されている樋管2か所の管理受託経費と財産譲与用地登記委託料を計上しているもので、本年度計上額は96万4,000円で、前年度と同額の計上となっております。特定財源につきましては、樋管樋門操作業務委託金6万4,000円を計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
上山
建設課
施設担当
課長

施設担当課長。

建設課施設担当課長、上山からご説明いたします。

89ページをお開き願います。8款4項1目公共下水道事業費は、本年度計上額6,872万7,000円で、531万2,000円の減額となっております。この目の予算は全額27節繰出金で、士幌町公共下水道事業特別会計予算に繰り出すもので、詳細は士幌町公共下水道事業会計予算にてご説明申し上げます。

続きまして、8款5項1目住宅管理費は、町営住宅管理に関わる諸費用で、本年度計上額は2,105万6,000円で、110万1,000円の増額となっております。主な増額要因は、10節需用費の修繕料の増額によるものでございます。その他は、ほぼ前年同様の計上となっております。特定財源は、町営住宅各種使用料など2,105万6,000円を計上しております。

次に、90ページをお開きください。予算書と併せまして予算説明資料15ページ及び16ページをご参照願います。2目住宅建設費は、町営住宅建設に関わる諸費用で、本年度計上額は1億7,546万5,000円、対前年度1億6,089万1,000円の増額となっております。主な増額の要因は、公営住宅建設工事の実施によるものであります。14節工事請負費で若葉団地及び中士幌団地の工事費に1億7,000万円計上するものであります。12節委託料は、当該住宅の実施計画委託業務が令和3年度完了したことにより479万8,000円の減額となっております。それ以外の節については、ほぼ前年同様の計上となっております。特定財源は、町営住宅使用料2,831万8,000円、地域住宅計画関連事業交付金7,650万円及び記載の法定事務委託金と合わせまして1億491万4,000円を計上しております。

		<p>次に、3目住宅団地造成管理費は、町の団地分譲に関わる諸費用で、本年度計上額は1,400万3,000円で、対前年度699万9,000円の増額となっております。主な増額要因は、18節負担金補助及び交付金のマイホーム建設支援事業補助金として700万円増額の1,000万円の計上によるものであります。その他の節の16節公有財産購入費は、分譲宅地の買戻し費用で前年同様の400万円を計上しております。26節公課費は、登記に関わる費用で、登録免許税として3,000円を計上しております。特定財源は、土地売却収入で1,392万3,000円を計上しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	<p>加藤委員長 亀野総務企画課長</p>	<p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。</p>
		<p>91ページに移りまして、9款1項1目消防費は、前年度対比1,658万7,000円増の1億8,671万7,000円を計上したところでございます。内訳といたしましては、とかち広域消防事務組合への負担金として署費、施設費に除細動器更新費用として428万5,000円増の2,264万2,000円、本部共通経費に高機能消防指令システム更新及び消防緊急デジタル無線機更新費用を新たに盛り込み、1,572万円を増額し、同組合に対し職員給与分として341万8,000円の減額計上となっているところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	<p>加藤委員長 土屋消防課長</p>	<p>消防課長。</p> <p>消防課長、土屋から説明いたします。</p>
		<p>予算書91ページを御覧ください。9款1項2目非常備消防費は、消防団に関する経費で、予算総額1,755万円、前年度対比543万3,000円の増額で計上したところですので。主な要因は、消防団条例改正に伴う消防団年額報酬及び出動報酬の改正による節移行等により、1節報酬で555万8,000円の増額及び8節旅費で497万3,000円減額、会計年度任用職員の人件費で1節報酬、3節職員手当等、4節共済費により374万円の計上による増額、車検対象車両増による10節需用費、修繕料、11節役務費、自賠責保険料及び公用車車検登録手数料、次ページの26節公課費で自動車重量税で全体で123万1,000円の増によるものです。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>質疑</p>	<p>加藤委員長 清水委員</p>	<p>説明が終わりましたので、土木費、消防費について質疑を行います。6番、清水委員。</p> <p>90ページ、住宅団地造成費が計上されています。土地購入費で400万円が計上されていますが、これはどこですか、場所は。</p>

加藤委員長	施設担当課長。
上山建設課施設担当課長	施設担当課長、上山よりご説明いたします。 こちらの400万円というのは、既に町の団地造成した土地を買っていただいて、何らかの都合により使わなくなってしまったので、もう一回町に買ってくださいますとといったときの分の金額をのせてごさいます。 以上です。
加藤委員長 伊藤委員	5番、伊藤委員。 85ページの公園管理費で11節、施設賠償責任保険料10万円計上していますが、これは遊具で事故が起きたときの賠償保険ということで理解してよろしいのでしょうか。
加藤委員長 田中建設課長	建設課長。 建設課主幹より答えさせます。
加藤委員長 加藤担当主幹	建設課主幹。 建設課主幹、加藤からお答えさせていただきます。 これにつきましては、遊具のある公園だけに限らず、町内にあります12か所の建設課で管理しております公園全ての中で遊具に限らず事故等がありましたら、補償するというところで契約させていただいているところでごさいます。 以上で説明を終わります。
加藤委員長 河口委員	2番、河口委員。 88ページ、21節の補償費の中で3,860万円、工事支障物件移転補償費とありますが、具体的に教えていただきたいと思います。
加藤委員長 田中建設課長	建設課長。 詳細につきましては、主幹のほうから答えさせます。
加藤委員長 加藤担当主幹	担当主幹。 建設課主幹、加藤からお答えさせていただきます。 こちらに計上しております補償費でごさいますが、まず土幌西1線という道路、今交付金で道路改良しているところでごさいまして、またそれ以外に今年度から中土幌11号線という道路を交付金事業で新しく採択していただいて、これから工事していくことになるところでご

ございます。今年は調査設計から始まるところでございますが、その中で水道あるいは下水道、それから中土幌11号におきましてはまだどこまでかかるかが未定なのでございますが、建物も幾つか引っかかってまいりますので、それらの補償費を計上しているところでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
大西委員

3番、大西委員。

消防費について町長代理者をお願いします。土幌消防団、現在定員55名、現数46名ですか、9名減で、来年度はまた何人か辞めるので、40人割るかもしれません。それで、町も今、国もそうなのですが、大災害が起きるのでないかということで防災ラジオや何かつけていますが、防災ラジオをつけて、今回地震が来て災害起きますよと言っても、それをカバーするのは、言ってみれば一番は消防だとか消防団なのです。その団員が少ないとどうしても町民の安全をカバーすることはできないのだと思うのです。それで、農協やら町にお願いをしています。団員を出して、強制的に出せというわけではありませんが、十勝管内も結構な町村で団員が出ているのですよ、町職員から。町職員も仕事しています。団員も皆さん仕事しています。同じ立場なのです。町職員は、我々よりも町民の生命、財産を守ることに力入れていると思うのです。それを一般の消防団員、仕事をしている消防団員だけをお願いするのでなくて、町職員も自ら暇なときは出れるような、十勝管内の町村でも結構団員出ていますから、強制とは言わないが、そのぐらいの意識が職員にあって当然だと思うのです。

これから千島沖だとか十勝沖だとか、あと30年もたないうちに災害、大きな地震が来ると。海岸では津波の心配していますが、震度7ぐらいが来ると内陸部でも相当な被害が出ると思うのです。消防署員は団員と違う、きちっとした職務をやらなければならないのですよ、救急車でいろんな。19人しかいないですから、それを外して消防団員みたいな仕事はできないのです。ですから、消防団員がやる仕事を少しでも人手がいないと。今46人と言っていますが、言ってみれば幽霊団員みたいな人が10人近くいるのです。1年間全然出てこない。年報酬もらっているが、出てこないという人がいるのです。ですから、町職員も我々と同じ立場ですから、働いているということは。そういうことを理解して、新しい町長にもぜひ代理者から消防団員に自ら手挙げて出てくれと言っていたきたいと思います。どうですか。

加藤
委員長
亀野
町長職務
代理者

町長職務代理者総務企画課長。

代理者総務企画課長、亀野よりお答えをいたします。

大西委員のおっしゃいましたご意見につきましては、新町長のほうにつないでまいりますし、また町職員につきましては強制ということ

説明

加藤
委員長

はなかなか難しいのですが、理解を得られるように、町民の皆さんと一体になりながら活動できるように私どものほうも周知をしまいたいと考えてございますので、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

そのほかありませんか。

(なし)

加藤
委員長

それでは、ここで昼食休憩といたします。

午前 11時45分 休憩

午後 1時15分 再開

加藤
委員長

休憩を解き、委員会を再開します。

教育費、公債費、諸支出金、予備費を議題とします。

説明を求めます。教育課長。

小野寺
教育課長

教育課長、小野寺から10款教育費についてご説明しますので、92ページをお開きください。

10款1項1目教育総務費ですが、本年度9,638万3,000円で、前年度対比335万9,000円の増で、主な要因は校務支援システムの改修に関わる委託料の増額、校務用データを保存するためのクラウドサーバー使用料の追加によるものでございます。1節報酬から93ページに移りまして4節共済費までは、特別職と教員の計5名のALTを含む会計年度任用職員5名分の人件費と前年度の実績による各委員報酬を計上、8節旅費では4年に1度の教育委員の道外視察を計上しております。12節委託料では、教職員の働き方改革のため導入しております校務支援システムの改修を含め150万円を増額して計上しております。94ページに移りまして、13節使用料及び賃借料では新たに校務用データを安全に管理、保存するためのクラウドサーバー使用料として92万円を計上、17節備品購入費では年次的な購入計画によります校務用パソコン20台、500万円の購入を含む536万円を計上しております。18節負担金補助及び交付金はほぼ前年並みの計上、21節補償補填及び賠償金では授業目的公衆送信補償金を、24節積立金は旧北中小学校を貸出ししていることによる基金への積立金、前年度と同額計上をしております。その他の節は、前年度の実績に応じまして計上しております。92ページに戻りまして、特定財源の内訳は愛のまち建設基金繰入金のほか、記載のとおり見込んでおります。

95ページをお開きください。2目スクールバス管理費ですが、本年度計上額は7,114万3,000円で、対前年度比247万8,000円の増であります。主な要因は、12節委託料において8路線の運行委託料に関わる燃料費の高騰に伴う増額によるものでございます。

続きまして、2項1目小学校費の学校管理費は、本年度5,608万7,000円で、前年度対比166万4,000円の増となっております。主な要因は、原油価格の高騰に伴う燃料費の増加によるものでございます。1節報酬から8節旅費までは会計年度任用職員2名分の人件費を、96ページ、11節役務費はインターネット契約プランの見直しなどによりまして58万1,000円の減、12節委託料では新たに体育館つり物ステージ点検委託料とバスケットゴールの点検のための体育館器具点検委託料、合わせまして53万4,000円を計上しました。97ページに移りまして、13節使用料及び賃借料ではモバイルWi-Fi使用料の支出科目を11節役務費に変更によりまして20万2,000円の減、14節工事請負費では上居辺小学校の光回線設備の新設工事150万円を計上、17節備品購入費では各校のネットワーク強化のための備品購入費148万円を含む218万円を計上しております。その他の節は、前年度実績に応じて計上したところであります。95ページに戻っていただきまして、特定財源の内訳ですが、地方創生臨時交付金のほか、記載のとおり見込んでおります。

97ページに戻っていただきまして、2目教育振興費は、本年度5,744万3,000円で、前年度対比121万3,000円の増であります。主な要因は、都市交流費の増額によるものでございます。1節報酬から8節旅費までは、少人数学級のための町費採用職員及び多人数学級解消等のための町費採用支援員の会計年度任用職員分、10名分の人件費を計上しております。10節需用費では、平成30年度から始めた子育て支援目的に保護者が負担してございまして購入していた主要教科の学習に必要な問題集や資料集の一部と外国語学習等の補助教材などを公費負担するための225万円などを含めて全体で428万円を計上しております。12節委託料では肢体不自由児学級児童の医療的ケアのための看護師派遣の経費を同額計上、13節使用料及び賃借料では国が令和6年度までに一定の導入を検討しておりますデジタル教科書の使用料117万9,000円を計上しました。17節備品購入費は、前年度同様各学校の図書や教育教材備品のほか、ICT教育機器の更新等経費、合わせまして415万円を計上、18節負担金補助及び交付金では2年間中止となっております土幌、中土幌小学校と美濃市児童の相互交流について対象人数を増やしたことによりまして増額、また上居辺小学校と千葉県鎌ヶ谷市の児童の受入に伴う経費などを含め、全体で621万8,000円を計上、その他の節は前年度実績に応じて計上しました。97ページに戻りまして、特定財源の内訳は地方創生臨時交付金など、記載のとおり見込んでおります。

続きまして、98ページ、3項1目中学校費の学校管理費は、本年度2,489万円で、前年度対比2,412万3,000円の減でございます。主な要因は、校舎屋上防水シート更新工事が完了したためでございます。11節役務費は小学校と同様インターネット契約プランの見直しなどによりまして90万2,000円の減、99ページに移りまして、12節委託料では

小学校と同様、新たにバスケットゴール点検のため体育館器具点検委託料と体育館つり物ステージ点検委託料、合わせて61万6,000円を計上しました。13節、使用料ではサポート対応年数の終了を迎えている印刷機に代えましてカラープリンター定額利用料66万円などを計上しました。17節備品購入費では、小学校同様校内のネットワーク強化をするための備品を含む管理備品購入のため119万3,000円を計上、その他の節は前年度の実績に応じて計上しました。98ページに戻りまして、特定財源は教職員住宅貸付料を見込んでおります。

99ページに戻りまして、2目教育振興費は、本年度3,937万2,000円で、前年度対比450万3,000円の増となっております。主な要因は、中学校の町費採用教職員を3名から4名への増員によるものでございます。1節報酬から100ページに移りまして8節旅費までは、会計年度任用職員5名分の人件費を計上しております。なお、増員する1名はICT支援担当教諭として配置し、GIGAスクール構想の推進を図るものでございます。13節使用料及び賃借料は小学校費と同様にデジタル教科書使用料33万円を計上、17節備品購入費は前年度同様図書館費のほか、教育教材費、楽器購入費となりますが、今年度教科書の改訂年ではないため、指導書の購入費用96万5,000円の減になります。18節負担金補助及び交付金は、近年の中学生の活躍が目覚ましく、全国、全道競技大会の参加助成金を同額計上しております。19節扶助費では、就学援助費と特別支援教育生徒就学奨励費の対象者が微増となる見込みで前年度対比24万6,000円の増の490万5,000円を計上、その他の節につきましては前年度の実績に応じて計上しております。99ページに戻りまして、特定財源の内訳は地方創生臨時交付金など、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
木下高校
事務長

士幌高等学校事務長。

高等学校事務長、木下からご説明いたします。

101ページを御覧ください。10款4項1目学校管理費ですが、予算額6,010万7,000円で、前年度対比615万9,000円の減額となっております。主な要因といたしまして、順次行っております校舎の工事、2号棟屋根塗装及び1号棟屋上防水等の完了によるものです。1節報酬から4節共済費は、会計年度任用職員1名及び一般職員3名分の人件費及び経費を計上しております。8節旅費は前年同額、10節需用費より11節役務費までは実績により計上しております。102ページに移りまして、12節委託料ですが、39万3,000円の減となっております。主な要因は、下から2番目、産業廃棄物処理委託料の低濃度PCB廃棄物処理の完了によるものです。13節使用料及び賃借料は、校舎LED照明器具賃貸借料の減などにより前年度比198万1,000円の減となってお

ります。14節工事請負費は、パソコン教室及び講義室にエアコンを設置するため240万円を計上しましたが、冒頭に説明の工事の完了により、前年度比674万5,000円の減となっております。15節原材料費は、ほぼ前年度同額となっております。17節備品購入費は、生徒用貴重品ロッカー等の購入に25万円増の60万円を計上しております。18節負担金補助及び交付金は、前年度同額を計上しております。特定財源ですが、101ページに戻っていただきまして、教職員住宅貸付料298万5,000円、地方創生臨時交付金240万円、そのほかは記載のとおり充当してございます。

再び103ページに移りまして、2目教育振興費ですが、予算額3億715万9,000円で、前年度対比441万9,000円の減額となっております。主な要因は、委託料の減によるもので、キルギス農業技術カレッジの生徒受入れを行う国際化人材育成推進事業委託料350万円の減によるものでございます。1節報酬より4節共済費までは、一般職員27名及び会計年度任用職員1名分を計上してございます。7節報償費から10節需用費は、前年度とほぼ同額となっております。11節役務費は、今年度導入予定の校務支援システムの通信回線料に42万3,000円を計上し、12節委託料のコンピューター保守管理委託料につきましては前年同額となっております。13節使用料及び賃借料は48万7,000円の減となり、生徒用アイパッド20台の5年間の長期賃貸借契約が今年度途中で終了するものです。17節備品購入費は、昨年とほぼ同額を計上しております。104ページに移りまして、18節負担金補助及び交付金につきましては、生徒数により算出したもので、24万円の増となっております。20節貸付金の帯広信用金庫への修学資金預託金は、対象学生数の減により50万円の減となっております。21節補償補填及び賠償金は、前年度とほぼ同額を計上しております。特定財源ですが、103ページに戻っていただきまして、授業料1,366万2,000円、地方創生臨時交付金21万7,000円、そのほかは記載のとおり充当してございます。

再び104ページに移りまして、下段の3目高原寮管理運営費ですが、予算額337万6,000円で、前年度対比33万3,000円の増額となっております。主な要因としましては、10節需用費の燃料の値上がりによるものでございます。11節役務費から105ページの13節使用料及び賃借料につきましては、前年度の実績により計上してございます。特定財源ですが、高原寮使用料22万円を充当してございます。

105ページに移りまして、4目農場管理費ですが、予算額4,639万円で、前年度対比266万6,000円の減額となっております。主な要因は、工事費の農場管理室屋根塗装の完了と分解組立て実習用フォーサイクルエンジンや刈り払い機等の購入完了による備品購入費の減によるものです。1節報酬より8節旅費までは、会計年度任用職員4名及び一般職員1名分の人件費及び経費を計上しております。10節需用費は、

印刷製本費の加工品ラベル代の14万2,000円の増のほかは、前年度の実績により計上してございます。11節役務費は前年度の実績によりほぼ同額で計上、12節委託料は全体で43万円の減となっております。主な要因といたしましては、農業マーケティング実践学習委託料により3年ごとに更新している志ブックダイジェスト版の制作完了によるものです。13節使用料及び賃借料より15節原材料費までは、ほぼ前年同額となっております。引き続き、107ページの17節備品購入費は、前年度比93万円の減となっており、冒頭に説明いたしました備品の購入完了によるものでございます。26節公課費は、対象車両3台に関わる予算を計上しております。特定財源につきましては、105ページに戻っていただきまして、高等学校生産物売払収入として1,340万円、愛のまち建設基金繰入金170万円、農業生産工程管理推進事業補助金54万8,000円を充当してございます。

107ページに移りまして、5目食品加工施設費ですが、予算額3,687万5,000円で、前年度対比128万1,000円の増額となっております。主な要因は、エアコンの設置工事によるものでございます。1節報酬から8節旅費までは、会計年度任用職員1名分及び一般職員2名分の人件費及び経費を計上しております。10節需用費ですが、需用費全体で前年度比160万2,000円の増となっております。主な要因としましては、ふるさと納税返礼品のアイスクリーム等の製造による消耗品費の60万1,000円の増や加工施設軒天修繕のため修繕料78万4,000円を計上、加えて燃料費の値上がりにより25万円の増となっております。11節役務費は、隔年で実施しております排水処理施設の汚泥処理計量器の検定等の実施年となるため、役務費全体で27万円の増となっております。108ページに移りまして、12節委託料は隔年で実施しております温風ボイラーの点検整備委託料の減により委託料全体で22万1,000円の減となっております。13節使用料及び賃借料は、ブロードバンド回線使用料を役務費へ移行し、通信回線料としたため5万7,000円の減となっております。14節工事請負費は、加工施設設備改修工事として試験検査室及び研修室2か所にエアコンを設置するため260万円を計上したものです。15節原材料費から18節負担金補助及び交付金は、前年度同額を計上しております。特定財源ですが、107ページに戻っていただきまして、地方創生臨時交付金260万円を充当してございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
小野寺
教育課長

教育課長。

引き続き、教育課長、小野寺から5項1目社会教育総務費をご説明いたします。

本年度3,215万3,000円で、前年度対比72万7,000円の減、主な要因としましては人事異動によります人件費の減額によるものでございま

す。1節報酬は社会教育委員と会計年度任用職員1名分の人件費を、2節給料から4節共済費までは職員2名と会計年度1名分の人件費を計上、11節、通信回線料は14節同様伝統農業保存伝承館の光回線に関わる通信回線料と工事費としまして新たに計上しました。110ページに移りまして、12節委託料では放課後児童の居場所の確保と様々な体験活動の提供のため子ども交流センターで行われております放課後子ども教室実施委託料462万6,000円を含む549万3,000円を計上、その他の節は前年度実績に応じてそれぞれ記載のとおり計上しております。109ページに戻りまして、特定財源の内訳は学校を核とした地域力強化プラン事業補助金のほか、記載のとおり見込んでおります。

110ページをお開きください。2目生涯学習推進費は、本年度752万1,000円で、前年度対比15万5,000円の増となっております。主な要因は、7節報償費、学習サポート事業講師謝礼の増によるもので、その他の節は前年度の実績に応じてそれぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、学校を核とした地域力強化プラン事業補助金を見込んだところであります。

111ページに移りまして、3目公民館費は本年度1,156万2,000円で、前年度対比145万7,000円の減、主な要因としましては17節備品購入費の減によるものでございます。1節報酬から13節使用料及び賃借料までと18節負担金補助及び交付金は、前年度の実績に応じて計上しております。特定財源の内訳は、中土幌公民館太陽光発電電力売払収入のほか、記載のとおり見込んでおります。

次に、112ページに移りまして、4目総合研修センター管理費は本年度6,607万5,000円で、前年度対比1,112万2,000円の増、主な要因は燃料費の高騰に伴う10節需用費、燃料費を180万円の増、14節工事請負費は総合研修センター図書館及び研修室にエアコンの設置工事900万円を計上によるものでございます。その他の節は、前年度の実績に応じてそれぞれ計上しました。特定財源の内訳は、総合研修センター使用料など、記載のとおり見込んでおります。

次に、5目図書館費は、本年度710万円で、おおむね前年度と同額でございます。1節報酬から4節共済費までは会計年度任用職員1名分の人件費を、その他の節は前年度の実績に応じてそれぞれ計上しました。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金を見込んでおります。

114ページをお開きください。6項1目保健体育総務費は、本年度1,219万9,000円で、前年度対比30万5,000円の増で、おおむね同額でございます。1節報酬はスポーツ推進委員の報酬を、2節給料から4節共済費までは職員1名分の人件費を計上しました。7節報償費は各種スポーツ大会等の審判謝礼やスポーツ賞等の表彰物品の購入費などを計上、11節役務費では新たにスポーツ教室保険料として7万4,000円

を計上、12節委託料ではトレーニング室、研修室で行われておりますフィットネス事業のため305万2,000円を、18節負担金補助及び交付金はスポーツ少年団活動助成金120万円、各競技大会派遣助成金100万円を合わせて全体で306万3,000円を計上し、その他の節は前年度の実績に応じてそれぞれ計上しました。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでおります。

115ページ、2目体育施設費は、本年度2,469万8,000円で、前年度対比155万7,000円の増でございます。主な要因は、10節需用費、燃料費が40万3,000円の増、14節工事請負費ではれいわパークゴルフ場の網設置工事50万円を計上、17節備品購入費では中土幌の森パークゴルフ場の芝刈り機更新のための購入費用としまして320万円を計上したところであります。その他の節は、前年度の実績に応じてそれぞれ計上しました。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
加納給食
センター
所長

給食センター所長。

給食センター所長、加納よりご説明いたします。

116ページ、3目学校給食センター管理費は、前年度対比222万1,000円の減額の本年度予算額7,631万4,000円を計上したところでございます。主な要因は、中土幌小学校給食配膳室の工事が完了したことと食物残渣運搬委託料が本年度より総務企画課の負担になることにより減額したものであります。10節需用費につきまして、賄い材料では児童及び生徒の減少などで141万6,000円減額の3,103万9,000円を計上いたしました。117ページを御覧ください。12節委託料につきまして、学校給食業務委託料では時間単価の上昇が主なる要因で118万9,000円増額の2,451万2,000円を計上いたしました。そのほかの節につきましては、おおむね前年実績に応じた額を計上しております。特定財源といたしましては、116ページに戻っていただきまして、学校給食費2,128万円のほか、記載のとおり見込んでいるところでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

117ページの中段になります。11款1項公債費、1目元金は、長期債に関わる償還金で、前年度対比1,094万1,000円増の7億2,226万6,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、道路整備などに係る起債の据置期間の終了に伴い償還が始まることによるものでございます。特定財源として、負担金、減債基金繰入金のほか、合わせて1億4,511万8,000円を充当するものでございます。

質疑		<p>次に、2目利子は、長期債の償還利子及び一時借入金の利子で、前年度対比336万4,000円減の3,775万4,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、10事業に関わる起債の償還が終了したことによるものでございます。特定財源といたしましては、負担金、使用料ほか、合わせて1,097万8,000円を充当するものでございます。</p> <p>次に、118ページをお開き願います。12款1項1目土地取得費は、公有財産購入費として前年同額の10万円を計上したところでございます。</p> <p>次に、13款1項1目予備費は、不測事態での支出に充てるため、前年度と同額の1,000万円を計上いたしました。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	加藤委員長 清水委員	<p>説明が終わりましたので、教育費、公債費、諸支出金、予備費について質疑を行います。ありませんか。6番、清水委員。</p> <p>115ページの体育施設費に関わるのですが、ゲートボール場の雨漏りについて伺いたいと思います。</p> <p>ゲートボール場の雨漏りが一向に止まらないということで、プレーをしている人たちから苦情があるのですが、これは昨年からそういうことで教育委員会には申入れしているのですが、どうなっているのでしょうかということがありました。その点についてお伺いします。</p>
	加藤委員長 小野寺教育課長	<p>教育課長。</p> <p>教育課長、小野寺のほうから回答させていただきます。</p> <p>雨漏りにつきましては、ここ数年長雨等になりますと雨漏りになっている状況は続いております。実際にその都度といいますか、現場を見ておりますし、業者の方に入っております。分かる範囲での修繕はしていただいておりますが、実際には分かりづらい部分もあるということで、全てが止まっていない状況ではありますが、特定しづらい部分があるということで業者には聞いてはおります。ただ、今後も引き続きそのような状況の場合には、すぐ業者の方に入っておりますように対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
	加藤委員長 清水委員	<p>6番、清水委員。</p> <p>業者の方にも見ていただいて対策をしているということなのですが、雨漏りの場合ですと塗装すると雨漏りが止まるということもあります。そういった点も考慮する必要があるのではないかと思います。ぜひ検討してみてください。</p>
加藤委員長	<p>10番、森本委員。</p>	

森本委員	<p>中学校、小学校、高校全般のお話になって、なかなか数字に出てこないところなのですが、かねてから学校に登校できない状況を踏まえてオンラインでの授業について土幌町でも準備を進めてきていると思いますが、以前のお話の中では町内の光回線の設置がほぼ終わってから本格的になるだろうというお答えもありましたが、現在どの程度まで準備として進んでいるのか教えてください。</p>
加藤委員	<p>教育課長。</p>
委員長	<p>教育課長、小野寺のほうからご回答させていただきます。</p>
小野寺	<p>光につきましては、当然そのようなことで、ない家庭も不都合がある。微弱な部分も環境的にはありますので、厳しい部分は当然ございます。ただ、今実際に学校閉鎖等もしまして、子供たちには全員持ち帰らせていますし、持ち帰れないタイミングだった子供たちには教職員がそれぞれ家に届けているような状況であります。実際にはそれぞれの担任の先生のやり方にもよりますが、できる限り使えるように、</p>
教育課長	<p>それと校内のほうも電波状況は大分よくなっておりますので、大分使い慣れてきていると思っております。現状としてはそのような形で、実際にタブレットの特に1年生とか2年生に関しては、メールによって宿題等を指示する。教科書のここを読みなさいですとか、そのような形で今はやっているような状況になっています。</p>
	<p>以上です。</p>
加藤委員	<p>10番、森本委員。</p>
委員長	<p>今課長からお答えいただいたとおり、担任からマ・メールという保護者メールを通じて課題の範囲等連絡はあったところでありますし、</p>
森本委員	<p>最初の小学校学年閉鎖のときにはタブレットの持ち帰りもできていなかった。現在は教職員が届けてくれるという形を取っていると思いますが、管内の高校等では個人のパソコンまたは端末からログインをして授業を受けるという形も取られているところが見受けられます。今後それぞれの環境に応じた選択肢というものも広げていく可能性必要だと思っておりますので、ぜひご検討いただきたい。</p>
	<p>7番、牧野委員。</p>
加藤委員	<p>96ページの遊具点検委託料なのですが、民生費の中にもあったのですが、遊具の種類とどのように点検しているのかをお伺いします。</p>
委員長	<p>教育課長。</p>
小野寺	<p>担当主査のほうから回答させていただきます。</p>
教育課長	

加藤委員長
進士
担当主査 担当主査。
教育課学校教育グループ担当主査、進士からお答えさせていただきます。

小学校の遊具点検料につきましては、いわゆる学校遊具、校庭にあります雲ていとか、鉄棒ですとか、そういったものを示しておりまして、業者のほうに点検を委託しております。町内の公園の遊具と同じ点検業者なのですが、さび具合とか、ねじの緩み具合ですとか、そのようなものを点検して、写真で報告するようになっています。以上です。

加藤委員長
牧野委員 7番、牧野委員。

点検の内容としては目視という理解でいいのかなと思うのですが、特に鉄製の場合はひびが見づらいという点があると思うのですが、その点精密な点検というのは行わないのでしょうか。

加藤委員長
進士
担当主査 担当主査。

写真を報告してもらった際に、例えばさびがひどいですとか、割れが出ている、また亀裂が見えるといった場合にはたたいてみたりですとか、いろんなことで取り替えるということも検討するのですが、現状ではそういったものの報告がないものですから、またありましたら急遽点検等は充実させなければいけないなとは思っていますが、現状は今のところない状態です。

加藤委員長 そのほかありませんか。

(なし)

加藤委員長 なければ、教育費、公債費、諸支出金、予備費の質疑を終了します。ここで説明員交代のため暫時休憩します。

午後 1時53分 休憩

午後 1時56分 再開

加藤委員長 休憩を解き、委員会を再開します。

説明

次に、歳入、債務負担行為、地方債、給与費等について説明を求めます。町民課長。

藤内町民課長 歳入、1款町税につきまして町民課長、藤内より説明をいたします。16ページをお開きください。1項町民税については、令和3年度の農業生産高を踏まえ、1目個人町民税は予算額4億7,290万円で、前年度対比4,000万円を増額、2目法人町民税は予算額3,800万1,000円で、前年度実績等を考慮し、前年度対比200万円を減額。

2 項 1 目固定資産税は、予算額 5 億 2,050 万円で、前年度と同額を計上しています。

2 目国有資産等所在市町村交付金は、北海道の資産が増加となったことから、予算額 35 万 6,000 円、前年度対比 30 万 6,000 円の増額。

3 項 1 目軽自動車税は、予算額 1,900 万 1,000 円で、前年度と同額を計上しています。

2 目環境性能割は、予算額 60 万 5,000 円で、前年度実績等を考慮し、前年度対比 11 万 5,000 円を減額。

17 ページ、4 項 1 目市町村たばこ税は、予算額 4,500 万円で、前年度実績等を考慮し、前年度対比 500 万円を増額。

5 項 1 目入湯税は、予算額 200 万円で、前年度実績等を考慮し、前年度対比 100 万円を増額しています。

以上で 1 款町税に係る収入について説明を終わります。

加 藤
委 員 長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

特定財源につきましては歳出予算でそれぞれ説明をしておりますので、一般財源のみ説明をさせていただきます。

それでは、2 款 1 項 1 目自動車重量譲与税は、国が示す令和 4 年度の地方財政計画概要を勘案し、前年度対比 500 万円増の 1 億 2,500 万円を計上しております。

2 項 1 目地方揮発油譲与税は前年度同額の 4,000 万円を計上、3 項 1 目森林環境譲与税は譲与額の段階的措置に伴い前年度対比 123 万 7,000 円増の 715 万 9,000 円を計上、次に 3 款 1 項 1 目利子割交付金は前年度同額の 80 万円を計上しております。

次に、18 ページをお開き願います。4 款 1 項 1 目配当割交付金及びその下の 5 款 1 項 1 目株式等譲渡所得割交付金は、前年度と同額を計上しております。

次に、6 款 1 項 1 目法人事業税交付金は交付額の実績を勘案し、前年度対比 550 万円増の 1,000 万円を計上、7 款 1 項 1 目地方消費税交付金は交付額の実績を勘案し、前年度対比 500 万円増の 1 億 3,500 万円を計上したところでございます。

8 款 1 項 1 目環境性能割交付金は、交付額の実績を勘案し、前年度同額の 1,100 万円を計上いたしました。

次に、19 ページに移りまして、上段の 9 款 1 項 1 目地方特例交付金は、環境性能割交付金の減税分及び新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税の減収補填分がともに令和 3 年度で終了したことから、前年度対比 500 万円を減額し、住宅ローンの減税に伴う減収補填分として 100 万円を計上しております。

次に、10 款 1 項 1 目地方交付税は、地域デジタル社会推進費の創設

並びに国の令和4年度地方財政計画概要を勘案し、前年度対比1億7,000万円増で普通交付税26億8,000万円、特別交付税を前年同額の1億2,000万円を計上し、総額28億円を計上してございます。

次に、28ページをお開き願います。中段に当たりますが、17款1項1目一般寄附金は科目存置でございます。

2目指定寄附金は、前年度対比99万9,000円減の2億5,000万1,000円を計上してございます。その内訳は、ふるさと寄附金を前年同様の2億5,000万円、一般寄附金を1,000円計上したところでございます。

次に、18款1項3目財政調整基金繰入金は、対前年度比1億円減の1億円を計上いたしました。

29ページに移りまして、19款1項1目繰越金は、前年度予算の執行状況を勘案し、前年度と同額の2,000万円を計上したところでございます。

次に、31ページを御覧願います。20款5項5目2節雑入の上から3行目に当たります備荒資金組合納付還付金ですが、財源不足を補うため、前年度対比1,000万円増の3億2,000万円を一般財源として計上したところでございます。

次に、32ページをお開き願います。21款1項町債ですが、一般財源の町債は、1目の臨時財政対策債で国の令和4年度地方財政計画概要を勘案し、前年度対比9,500万円減の6,100万円を計上したところでございます。

それでは、9ページを御覧ください。第2表、債務負担行為は、2つの事項について債務を負担しようとするもので、その期間と限度額につきましてはそれぞれ記載のとおりとなっております。

次のページの10ページをお開きを願います。第3表、地方債ですが、起債の目的はそれぞれの事業を実施する際に財源として充当するものでございます。限度額は充当可能額を算出、計上し、起債の方法、利率、償還の方法は11ページにかけて記載のとおりとなっております。

次に、119ページを御覧願います。給与費明細書ですが、特別職の理事者、議員、その他の委員に係る給与費、共済費でありまして、本年度の予算額は1億1,217万8,000円で、前年度対比450万7,000円の増となっております。

次に、120ページを御覧願います。ここでは120ページから121ページにかけて一般職、会計年度任用職員に係る給与費、共済費を表に記載しております。本年度予算額は13億7,456万6,000円で、前年度対比2,396万2,000円の減となり、各種手当、増減の内訳につきましては記載のとおりとなっております。

なお、122ページから126ページにかけては、本町の給与に関わる支給内容及び国との制度比較などを参考資料として記載をしてございますので、ご参照願います。

		<p>続いて、127ページから130ページには債務負担行為の支出予定額に関する調べを掲載してございますので、こちらも後ほどご参照願います。</p> <p>次に、131ページを御覧願います。地方債の現在高の見込みに関する調書では、令和3年度末現在高見込額は66億1,307万3,000円で、令和4年度中の起債見込額は2億2,380万円、元金償還見込額は7億2,226万6,000円で、令和4年度末現在高見込額は61億1,460万7,000円となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
質 疑	加 藤 委 員 長	<p>説明が終わりましたので、歳入全般について質疑を行います。ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(な し)</p>
	加 藤 委 員 長	<p>ないようですので、歳入、債務負担行為、地方債、給与費等の質疑を終了します。</p> <p>ここで管理職全員が着席するため、暫時休憩いたします。</p> <p style="text-align: center;">午後 2時05分 休憩 午後 2時06分 再開</p>
	加 藤 委 員 長	<p>休憩を解き、委員会を再開します。</p> <p>一般会計について款ごとの説明並びに質疑が終わりました。</p> <p>ここで歳入歳出全般を通じて質疑を行います。ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(な し)</p>
	加 藤 委 員 長	<p>質疑がなければ、質疑を終わり、討論を行います。</p> <p style="text-align: center;">(な し)</p>
	加 藤 委 員 長	<p>討論なしと認め、これから採決します。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべきものと決定することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
	加 藤 委 員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。</p> <p>本日の予算審査特別委員会はこれにて散会します。</p> <p>次回の予算審査特別委員会は、明日10日午前10時から再開いたします。</p> <p>お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">(午後 2時07分)</p>